

一条福祉館だより No.425

差別は「される側」ではなく「する側」の問題

ふくしかんこうえんかい 〔福祉館講演会〕

9月16日(水) 19:00 から、一条福祉館で人権・同和問題講演会を開催しました。60名を超える方が参加してくださいました。

講師は吉木支部で支部長をされている中山洋一さん。ご自身の生きざまや想いを、ギターでの弾き語りとお話で、私たちに伝えてくださいました。

差別の中で苦しい思いをされたこと、しかし本当に苦しまれたのは、差別を受けている自分の中にも差別する心があったこと、自分自身が差別者であったことだそうです。自分が差別者であることは、回り回って自分が自分を差別することになる、このことを自覚し、そこから新たな一歩を踏み出すことが中山さんの闘いだったそうです。

苦悩される中で、中山さんが出会った言葉「ありのままの自分を受け入れること」「人は変われること」「何度でもやり直せること」に私自身も大変共感を覚えました。

《参加者の感想から》

○「私を救ったのは彼女の人権感覚でした」というお話が印象に残りました。同じ状況になったときに相手にどんな言葉かけられるか考えさせられました。私もそのような人権感覚を身につけたい。子どもたちに身につけさせたいと思いました。ありがとうございました。



○同じ年代に生まれ、生きて行く中で、友だちが出会った部落差別、結婚差別のことを思い出し、今までの自分の活動を振り返りました。心に光と愛を与えることができているのかももう一度考えていきたいと思います。今日はありがとうございました。

○あっという間の90分間でした。力強い歌声に勇気をもらった気がします。差別は人を切っていくという言葉が心に残りました。ありがとうございました。

○本日はありがとうございました。今日の講演を聞いて、改めて「自分っていいな」と思える選択をしていきたいと感じました。大切なのは自分と向き合うこと、自分の弱さを知ること、そんなことを講師の先生から学びました。歌を通してわかりやすくおしえていただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。



夜明け
詞／曲…中山洋一

ながれきし しはい なか
長い歴史の支配の中で
もがき苦しみ生きてきた人よ
地球を取り巻く出来事に
立ち向かう若者がいることを君に伝えたい
遠い過去にあるという
差別迫害に苦しむ人よ
今なお続くことさえ
知らない人々に伝えて共に進みたい
私には見える未来の灯が
もうすぐそこにあることを
悲しみ耐えて涙した
それが何時しか優しさになる
人々が歩き始めている
幸福の旗を高く掲げて

ながれきし しはい なか
長い歴史の支配の中で
真実求めて彷徨う人よ
今ここに集う若者が
輝く未来の時代を照らしている
遠い過去に打ち込まれた
差別の楔に倒れ逝く人よ
世界に渦巻く激動が
確かなわれらの道を照らしている
私には見える遠く離れても
地球が一つになることを
死にたいほど挫折した
それがいつしか強さに変わる
幸福の旗を高く掲げて
幸福の旗を高く掲げて



10月行事予定

日	曜	福祉館行事	関係団体行事等	日	曜	福祉館行事	関係団体行事等
1	木	定例会議(8:30~9:30)		17	土		北小運動会
2	金			18	日	閉館	
3	土			19	月		
4	日	閉館		20	火	よろず相談(18:00~19:30)	
5	月			21	水	解放教室(集会準備)	
6	火	質問教室(16:00~18:00) よろず相談(18:00~19:30)		22	木		
7	水			23	金		
8	木			24	土		
9	金			25	日	閉館	
10	土			26	月	解放教室(集会準備)	
11	日	閉館		27	火	質問教室(16:00~18:00) 10.31集会(18:00~)	
12	月	閉館 スポーツの日		28	水	いきいき健康教室 (14:30~15:30)	北中人権学習
13	火	パソコン教室(19:00~20:30)		29	木		北中人権学習
14	水	いきいき健康教室 (14:30~15:30)	北中ブロック人権同和 教育専門委員会	30	金	北小2年生福祉館学習	人権セミナー筑後
15	木			31	土		福岡県同教実践交流会
16	金						